

平成28年度 次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト評価会 における評価・再審査結果及びフォローアップ結果の概要について

1. 評価会スケジュール

平成29年1月17日（火）	評価調査票・フォローアップ調査票作成依頼
2月13日（月）	評価調査票・フォローアップ調査票締切
2月27日（月）	評価会

2. 評価・再審査結果

総合評価	S. 継続（他課題に合流、取組の加速）
	A. 継続（他課題に合流、引き続き取組の実施）
	B. 継続（他課題に合流、取組を縮小して引き続き実施）
	C. 事業終了

事業名／課題名	課題責任機関名	評価・再審査結果
次世代火山研究推進事業 課題E 「火山観測に必要な新たな観測技術の開発」	国立大学法人九州大学	A
①「空中マイクロ波送電技術を用いた火山観測・監視装置の開発」		
次世代火山研究推進事業 課題E 「火山観測に必要な新たな観測技術の開発」	国立大学法人秋田大学	S
②「位相シフト光パルス干渉法を用いた振動観測システムによる火山観測の実施」		

3. フォローアップ結果

事業名／課題名	課題責任機関名（共同実施機関名）	進捗状況
次世代火山研究推進事業 課題A 「各種観測データの一元化」	国立研究開発法人防災科学技術研究所	概ね順調に進んでいる
次世代火山研究推進事業 課題B 「先端的な火山観測技術の開発」	国立大学法人東京大学地震研究所	概ね順調に進んでいる
	国立研究開発法人防災科学技術研究所	概ね順調に進んでいる
	国立大学法人東京大学	概ね順調に進んでいる
	国立大学法人東京大学地震研究所	概ね順調に進んでいる
次世代火山研究推進事業 課題C 「火山噴火の予測技術の開発」	国立大学法人東京大学地震研究所	概ね順調に進んでいる
	国立大学法人北海道大学	概ね順調に進んでいる
	国立研究開発法人防災科学技術研究所	概ね順調に進んでいる
次世代火山研究推進事業 課題D 「火山災害対策技術の開発」	アジア航測株式会社	概ね順調に進んでいる
	国立大学法人京都大学防災研究所	概ね順調に進んでいる
	国立研究開発法人防災科学技術研究所	概ね順調に進んでいる
火山研究人材育成コンソーシアム 構築事業	国立大学法人東北大学	概ね順調に進んでいる

次世代火山研究推進事業	
課題 E：国立大学法人九州大学 火山観測に必要な新たな観測技術の開発 (空中マイクロ波送電技術を用いた火山観測・監視装置の開発)	
評価・再審査結果	
A：継続（他課題に合流、引き続き取組の実施）	
継続の条件、改善事項等について主なコメント	
<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降も事業を継続する ・実用化に向けた取組を加速するため、早急に課題 B の観測の中で活用されるよう、連携を加速すること ・事業期間は平成 31 年度までとするが、上記の観点を中心に評価を実施し、継続となった場合は、引き続き事業を継続する ・取組の加速のため、本プロジェクト以外の外部資金の獲得を目指すように努めること 	
課題 E：国立大学法人秋田大学 火山観測に必要な新たな観測技術の開発 (位相シフト光パルス干渉法を用いた振動観測システムによる火山観測の実施)	
評価・再審査結果	
S：継続（他課題に合流、取組の加速）	
継続の条件、改善事項について主なコメント	
<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降も事業を継続する ・実用化に向けた取組を加速するため、早急に課題 B の観測の中で活用されるよう、連携を加速すること ・事業期間は平成 31 年度までとするが、上記の観点を中心に評価を実施し、継続となった場合は、引き続き事業を継続する ・取組の加速のため、本プロジェクト以外の外部資金の獲得を目指すように努めること 	

次世代火山研究推進事業	
課題 A：課題責任機関：国立研究開発法人防災科学技術研究所 各種観測データの一元化	
進捗状況	
概ね順調に進んでいる	
主なコメント	
<ul style="list-style-type: none"> ・火山コミュニティで一元化についての共通認識を形成しようと努めている。今後も一元化についてのコンセンサスを得る努力を期待する ・関係機関にヒアリングを行っているが、ヒアリングをした人や内容について整理を行い、報告することを期待する ・平成 29 年度中に、可能な範囲で、実装したデータベースを外部から見えるようにすることを期待する。その際、一元化の目的・概念を関係者に理解して頂く活動を一層行うことを期待する ・ボーリングコアのデータも一元化するのであれば、産業技術総合研究所との連携強化に向け、その推進体制について今後さらに検討することを期待する ・データ提供の協力について、関係機関と早急な連携の具体化を期待する ・一般へのデータ公開については、公開の方法について、社会科学の研究者等とも連携し、ユーザーがどう受け取るかを考慮して進めることを期待する 	
課題 B：課題責任機関：国立大学法人東京大学地震研究所 先端的な火山観測技術の開発	
サブテーマ 1：新たな技術を活用した火山観測の高度化	
サブテーマ 2：リモートセンシングを活用した火山観測技術の開発	
サブテーマ 3：地球化学的観測技術の開発	
サブテーマ 4：火山内部構造・状態把握技術の開発	
進捗状況	
サブテーマ 1：概ね順調に進んでいる	
サブテーマ 2：概ね順調に進んでいる	
サブテーマ 3：概ね順調に進んでいる	
サブテーマ 4：概ね順調に進んでいる	
主なコメント	
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業開始以前のデータについても可能な範囲で公開し、火山活動評価に活用することを期待する（サブテーマ 1） ・衛星 SAR の解析結果は研究者によって異なることがあるので、標準的な解析手法を作成し、公開することを期待する（サブテーマ 2） 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度は観測が出来なかった項目がいくつかあったが、平成 29 年度は実施できることを期待する（サブテーマ 3） ・サブテーマ 3 とサブテーマ 4 は、可能な範囲で、同じ対象火山で、観測時期を合わせて、データの比較を行い、火山活動評価を実施することを期待する
	<p>課題 C：課題責任機関：国立大学法人北海道大学</p> <p>火山噴火の予測技術の開発</p> <p>（火山噴出物分析による噴火事象分岐予測手法の開発）</p> <p>（噴火履歴調査による火山噴火の中長期予測と噴火推移調査に基づく噴火事象系統樹の作成）</p> <p>（シミュレーションによる噴火ハザード予測手法の開発）</p> <p>進捗状況</p> <p>サブテーマ 1：概ね順調に進んでいる</p> <p>サブテーマ 2：概ね順調に進んでいる</p> <p>サブテーマ 3：概ね順調に進んでいる</p> <p>主なコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り、業務実施目標の時期、及びその実施目標に向けた具体的な計画を明確にして、戦略的に進めることを期待する（サブテーマ 3） ・特に、「課題 D サブテーマ 2」とのさらなる連携を今後期待する（サブテーマ 3）
	<p>課題 D：課題責任機関：国立研究開発法人防災科学技術研究所</p> <p>火山災害対策技術の開発</p> <p>（無人機（ドローン等）による火山災害のリアルタイム把握手法の開発）</p> <p>（リアルタイムの火山灰ハザード評価手法の開発）</p> <p>（火山災害対策のための情報ツールの開発）</p> <p>進捗状況</p> <p>サブテーマ 1：概ね順調に進んでいる</p> <p>サブテーマ 2：概ね順調に進んでいる</p> <p>サブテーマ 3：概ね順調に進んでいる</p> <p>主なコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローンの活用技術・ノウハウ等について、プロジェクト関係者や火山研究人材育成コンソーシアム構築事業の受講生等に共有し、それらの方々がドローンを活用できるように働きかけることを期待する（サブテーマ 1） ・特に、「課題 C サブテーマ 3」とのさらなる連携を今後期待する（サブテーマ 2） ・事業を実施する上で、リスクコミュニケーション担当プロジェクト・アドバイザーの指導を仰ぐことが望ましい（サブテーマ 3）
	<p>○火山研究人材育成コンソーシアム構築事業：国立大学法人東北大学</p> <p>進捗状況</p>

	概ね順調に進んでいる	
	主なコメント	
	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生の意見を聞き、可能な限りフィードバックすることを期待する ・コンソーシアムを修了した学生の受け皿となる気象庁や国土地理院等に、コンソーシアムでどういう人材を育成しているかについて積極的に宣伝することを期待する 	

(参考)

次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト評価会委員 一覧

(50音順)

○石 原 和 弘	京都大学 名誉教授
宇 平 幸 一	元気象庁地震火山部長
岡 崎 紀 俊	北海道立総合研究機構地質研究所 研究主幹
金 子 信 博	横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授
中 森 広 道	日本大学文理学部社会学科 教授
平 田 直	東京大学地震研究所地震予知研究センター長 教授

○：主査